

観光社会資本の事例

テーマ	日本一の杉並木
<p>【施設の状況写真】</p> <div data-bbox="248 416 735 987"></div> <div data-bbox="217 1010 764 1133"><p>国の特別史跡、特別天然記念物に2重指定を受けている杉並木。</p></div> <div data-bbox="831 416 1318 987"></div> <div data-bbox="831 1010 1347 1178"><p>四季折々の風景をかもし出す杉並木は、写真家の間でも評判となっている。</p></div>	
<p>【施設の利用写真】</p> <div data-bbox="280 1279 730 1615"></div> <div data-bbox="280 1659 730 1756"><p>杉並木の中を散策し、歴史と自然にふれあう観光客。</p></div> <div data-bbox="895 1279 1302 1615"></div> <div data-bbox="831 1659 1410 1756"><p>杉並木街道の魅力づくりの一環として、『杉』をテーマに作られた杉並木公園。</p></div>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>日光杉並木街道(国道119号)は、日光、鬼怒川温泉の表玄関として、日光市はもとより近隣の市町村に観光的な効果をもたらしている。四季折々の風景をかもし出す杉並木は、写真家の間でも評判となっている。また、日光市が街道に併設し運営している杉並木公園で人々が憩えるようになっており、観光協会とタイアップして「市の観光資源」としての利用を進めている。</p>	

テーマ	日本一の杉並木	
【社会資本の基礎データ】 名称 杉並木公園 所在地 栃木県 日光市 瀬川 事業名 ふるさとづくり特別対策事業 事業主体 栃木県 日光市 事業期間 平成元年～平成4年	名称 一般国道119号(日光杉並木街道) 所在地 栃木県日光市春日町 ～日光市野口 事業名 リフレッシュマイロードモデル事業 事業主体 栃木県 事業期間 昭和62年度～平成6年度	
【社会資本の役割・効果】 国道119号は、宇都宮市を起点として日光市に至る幹線道路であり、主に日光市民の生活道路として利用されている。(交通量 16,549 台/日) 古くは日光街道として、人々の往来が盛んだった日光杉並木街道(国道119号)は、現在でも日光、鬼怒川温泉の表玄関でもあり、日本に於ける最もドイツ的自然景観を有していることから「日本ロマンチック街道」(長野県上田市を起点として、群馬県草津町、沼田市を経て栃木県宇都宮市に通ずる全長 350Km)としても位置づけられており、日光市はもとより近隣の市町村に観光的な効果をもたらしている。 この国道119号を含む、日光・例幣使・会津西街道の今市・日光市域、全長37kmの両側にうっそうとそびえる杉並木。徳川家康(1542～1616)の忠臣松平正綱が20余年の年月をかけて杉を植え、主君家康の32回忌にあたる慶安元年(1648年)4月17日に日光東照宮(1617年造営)に寄進し、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定をうけている。 日光杉並木を保護、保存することにより、歴史的に価値のある貴重な文化遺産を未来に継承すると共に、日光市及び近隣市町村の観光資源となっている。(旧今市市は、世界一の杉並木街道としてギネスブックに登載をしている。)		
【位置図】 		
【関連ホームページ】 日光市 http://www.city.nikko.lg.jp		